

一般社団法人日本光学会 2015 年度第 1 回委員総会議事録

日 時： 2015 年 6 月 8 日(月) 14：00～17：00

場 所： 東京農工大学小金井キャンパス

出席者： 黒田会長，ほか 29 名（総務委員，各委員会運営委員，支部委員，「OR」出版委員長）

議 事：

1. 黒田会長挨拶，委員紹介

- ・黒田会長より開会挨拶があり，続いて理事・運営委員の紹介があった。

2. 学会設立・運営に関する経過報告

2-1. 学会設立に至る経緯と運営について

- ・応用物理学会の一組織として設立された光学懇話会（1952 年）は 1989 年に日本光学会と名称変更して発展してきたが，2015 年 1 月に一般社団法人日本光学会として新学会設立へと至った経緯が報告された。また，2015 年 5 月の事務局設置をはじめ，学会運営に関する現況について報告された。

2-2. 各種規程について

- ・これまでに総務委員会で策定された，日本光学会細則，光学論文賞規程，光学奨励賞規程，OPJ 優秀講演賞規程およびコニカミノルタ光みらい奨励金規程について説明がなされた。

2-3. 運営形態・組織，委員会について

- ・本学会の組織図について説明がなされた。
- ・代表理事（会長を含む 3 人），理事（7 人），監事（1 人）および運営委員（29 人）の担当部分に関して説明がなされた。
- ・理事会の下に設置された各組織（支部，委員会，本部会議および研究グループ）について説明がなされた。

2-4. MOU 締結先 / 交流協定先について

- ・国際交流協定（MOU）締結先の Chinese Optical Society (COS)，European Optical Society (EOS)，The Optical Society (OSA)，Optical Society of Korea (OSK)，SPIE，Taiwan Photonics Society (TPS)，Chinese Society of Optical Engineering (CSOE，交渉中) と，交流協定先の板橋区について報告された。

2-5. 会員について

- ・現在の会員数（個人会員数 737 名，特別会員数 94 口〔うち特別会員 A 数 60 口，特別会員 B 数 9 口，特別会員 C 数 25 口〕，賛助会員数 33 社 49 口）について報告された。

2-6. 広報・HP・渉外について

- ・2014 年 9 月に開設したホームページの現状とメールマガジンによる情報発信について報告された。
- ・本学会の設立記念シンポジウム（1 月 16 日，於ハイライフプラザいたばし），OPIE'15（レンズ設計・製造展）ブース展示会（4 月 22～24 日，於パシフィコ横浜），および板橋区との連携協定締結式（6 月 2 日，於板橋区役所）の開催状況について報告された。

3. 2015 年度事業計画に関する報告

3-1. 講演会・講習会について

- ・2015 年度に開催（予定を含む）の講演会，講習会，国際会議などおもな事業について報告された。
- ・OPJ 2015（10 月 28～30 日開催）の会場（筑波大学東京キャンパス文京校舎 / 放送大学東京文京学習センター），スケジュール，収支予定，大会組織などの進捗状況について報告された。

3-2. 「光学」と「Optical Review」について

- ・会誌「光学」と論文誌「Optical Review」の出版に関する現状と事業内容について報告された。

3-3. 各賞について

- ・光学論文賞，光学奨励賞，OPJ 優秀講演賞，コニカミノルタ光みらい奨励金に関する変更点（対象期間，対象者，表彰方法）などについて報告された。

3-4. 研究グループについて

- ・設置された以下の 13 の研究グループと運営に関して報告された。ナノオプティクス研究グループ，コンテンポラリーオプティクス研究グループ，視覚研究グループ，生体医用光学研究グループ，情報フォトンクス研究グループ，光設計研究グループ，ホログラフィックディスプレイ研究グループ，光波シンセシス研究グループ，次世代フォトニックネットワークのための光技術研究グループ，ポリウムホログラフィックメモリ技術研究グループ，レーザーディスプレイ技術研究グループ，デジタルオプティクス研究グループ，偏光計測・制御技術研究グループ。

4. 2015 年度予算計画に関する報告

- ・会費収入，事業収支，学会運営費，学会立ち上げ経費について，予算計画が報告された。

5. その他

- ・委員総会終了後，委員会ごとに担当業務内容に関する打ち合わせが実施された。

第 42 回冬期講習会「デジタル時代のホログラフィー」

ホログラフィーは光の回折と干渉を利用して立体画像を記録・再生する方法であり、近年の撮像素素数の増大、画素の高密度化、コンピューターの高速化、大容量化などのデジタル技術の進展により、急激に研究開発が進められています。今回は関連分野の著名な講師の方々をお招きして、デジタル技術を用いたホログラフィーの基礎から、最新技術を取り入れたさまざまな応用分野での研究動向や先端技術をわかりやすく解説していただきます。この分野に興味をお持ちの研究者、技術者、学生の皆様にとって充実した講習になると考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日：2016年1月14日(木)～15日(金)

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室

(〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1) http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

主催：日本光学会

共催：応用物理学会フォトニクス分科会

協賛：映像情報メディア学会、画像電子学会、計測自動制御学会、光産業技術振興協会、情報処理学会、精密工学会、電気学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本機械学会、レーザー学会

プログラム：〔1月14日(木)〕①「ホログラフィーの基礎」山口一郎(理研名誉研究員・前群馬大)、②「デジタルホログラフィーにおけるホログラム生成」粟辻安浩(京都工芸繊維大)、③「デジタルホログラフィーの再生計算」的場修(神戸大)、④「デジタル分光ホログラフィー」吉森久(岩手大)、⑤「GPUによるデジタルホログラフィーの高速計算」下馬場朋禄(千葉大)〔1月15日(金)〕⑥「デジタルホログラフィーによる工業計測」横田正幸(島根大)、⑦「デジタルホログラフィーの定量位相顕微鏡応用」渡邊恵理子(電気通信大)、⑧「ホログラフィーを原理とする立体ディスプレイ」高木康博(東京農工大)、⑨「計算機合成ホログラム」吉川浩(日本大)

申込締切：2016年1月7日(木)12:00、定員85名まで受付、先着順。

参加費・申込方法等の詳細は本号の表紙裏ページ、または日本光学会ホームページ(<http://myOSJ.or.jp>)の講習会案内をご覧ください。

第 49 回光学五学会関西支部連合講演会

光学関連五学会の関西支部では合同で年1回の連合講演会を開催しており、今回で49回目を迎えます。本講演会

は、幅広い分野の講師の方々にご講演いただいで見識を広め、また、会員の交流を深めることを目的にしております。今回は、「光と形の最新トピック」というテーマで、発光現象から、光を用いた3D造形、3D認知と幅広い分野において第一線でご活躍の講師の皆様にご講演いただきます。

日時：2015年12月5日(土)13:10～17:10

場所：大阪市立大学文化交流センター・ホール

(〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

主催：日本光学会関西支部、照明学会関西支部、日本色彩学会関西支部、日本分光学会関西支部、日本写真学会西部支部

プログラム：①「自ら光る街路樹の創生をめざして」永井健治(大阪大)、②「光受容タンパク質の意外な使い方をピンぼけ像を使った奥行き知覚」小柳光正(大阪市立大)、③「3Dプリンターの技術解説と生産現場における活用事例」坂木泰三(リコー)、④「3Dプリンターにより造形した人体臓器モデルの利用」森健策(名古屋大)

参加費：主催・協賛学会員2,000円、会員外2,500円、学生500円。当日支払い。

申込締切：2015年11月30日(月)17:00(定員80名)

申込方法等の詳細は、光学五学会のホームページ <http://kougaku5-kansai.org/>にてご確認ください。

第 138 回微小光学研究会「色が広がる微小光学—照明とディスプレイ(魅せる色、正確な色)—」

生物が進化の過程で視覚を獲得し、さらに色の識別能力を獲得して、人類は物体・物質の非接触認識に活用している。しかしながら、「色」の認識は光源のスペクトルと照明環境、脳の情報処理などさまざまな要因に影響を受けてさまざまに変化し、かつ個人差もある。そこで、色の認識と環境、その高精細ディスプレイへの応用技術に関する講演を中心に、正確な色を認識して正確に再現、表示するための「色の科学と正確な再現技術」に関する知見を広げたい。

開催日：2015年12月1日(火)

主催：微小光学研究会

場所：東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホール

(〒152-0033 東京都目黒区大岡山2-12-1) 東急大井町線・目黒線大岡山駅下車、徒歩1分

問合せ先：片山悦治(古河電工)

E-mail katayama.etsuji@furukawa.co.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

ご逝去

ご逝去の訃音に接し、これまでの本会へのご貢献に感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。

会員番号	氏名	ご所属	ご逝去年月日
00558R	高橋 浩一	オリンパス株式会社	2015年10月19日

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話 / Fax 055-220-8448 E-mail lianhua@yamanashi.ac.jp

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「応用物理」第84巻第11号（2015年11月号）予定目次

解 説

知的ナノフォトニックアーキテクチャ 一局所環境での光と
物質を用いた知的機能構造 …… 成瀬 誠
パワーデバイス用 MCZ-Si ウェーハ …… 中川聡子
酸化亜鉛ヘテロ界面の高品質化と2次元量子輸送現象
…… フォルソン ジョセフ, 小塚裕介, 塚崎 敦, 川崎雅司

最近の展望

薄膜太陽電池技術の現状と今後の展望 …… 櫛屋勝巳
フェムト秒レーザー加工での過渡応力分布の観測と多点同時
照射による応力変調 …… 坂倉政明

研究紹介

ウェアラブル・フレキシブル健康管理デバイス …… 竹井邦晴

基礎講座

洗浄技術のコツ —Si 表面のウェット洗浄 …… 有馬健太

今月のトピックス：国際光年 IYL2015

国際光年に寄せて …… 荒川泰彦
国際光年と応用物理学会 …… 河田 聡, 梅田倫弘
国際光年における各種活動紹介 …… 小関泰之
国際光年パンフレット紹介 …… 松尾由賀利

焦 点

研究データベースの進化と威力 …… 関 行宏

速報：講演会レポート

…… 森 耕一

連 載

科学を詠む⑩ 美しさ色いろ …… 松村由利子

Science As Art

クリスマスツリー …… 堀家匠平

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2015年7月27日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アドバンテスト研究所	(株)東芝
(株)アルゴ	(株)トプコン
ウシオ電機(株)	(株)ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス(株)	(株)ニコン
(株)オプトロニクス	(株)ニデック
オリンパス(株)	日本板硝子(株)
キヤノン(株)	(一社)日本オプトメカトロニクス協会
(株)清原光学	富士フイルム(株)
(株)光学技研	古野電気(株)
興和(株)	マミヤ・デジタル・イメージング(株)
(株)五藤光学研究所	(株)溝尻光学工業所
コニカミノルタ(株)	三菱レイヨン(株)
(株)シグマ	ユニオプト(株)
(株)昭和オプトロニクス	(株)リコー
ソーラボジャパン(株)	ルーマスソフト(株)
(株)タムロン	
中央精機(株)	以上 33社 49口 (五十音順)
テルモ(株) 技術センター	
